

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスすてっぷ		
○保護者評価実施期間	2025年12月20日		～ 2026年1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年12月20日		～ 2026年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、理学療法士、臨床心理士、社会福祉士等専門職員がそろい、専門的視点をもった職員が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的職員がそれぞれの専門分野を活かしたプログラムを子どもたちに実施している。</li> <li>・本年度も昨年度に引き続き、心理士を中心、親子の関係を深めるための「ポニーワンデイキャンプ」を実施した。プログラム実施に向け共通理解を図るための職員研修を行い、チームとしての支援力の向上に取り組むことができた。</li> <li>・それぞれの専門分野を共に学び合ったり、アドバイスし合える機会として、研修を担ってもらうことにも取り組んだ。</li> <li>・また保護者への発信をニュースレターで持ち回りで担当した。</li> </ul>	取り組みを発信していくため、活動内容についてまとめる。
2	地域とのかかわりを大切にした活動をおこなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロウィンは地域のお店や事業所に協力して頂いて毎年行い、日常の子どもたちとのかかわりにもつながっている。今年度は残念ながら雨だったため、クリスマスパレードを行った。</li> <li>・カフェ「りんごの木」でのお仕事体験も地域のみなさんと交流する機会となっている。</li> <li>・ポニーを通しての地域とのかかわりは様々な場面に広がりを見せている。子どもたちが地域の子どもたちにポニーを紹介する「あそぼう会」も実施している。</li> </ul>	今後も地域の中で活動していくことを大切にしていく。保護者の方のアンケートから、地域とのかかわりについて知らないという方が減少した。引き続き、情報発信も大切にしていきたい。
3	職員の研修が充実している。	月に1回の内部研修と、外部研修を随時行っている。自分たちの支援を再確認したり、新しいことを発見したり、職員同士の相互理解や支援の共有の場になったりと、とても大切な時間になっている。	どんな研修内容が必要とされているかを検討しながら、研修内容を深めていく。現在困っていることや、どんな内容を深めたいか、職員の意見も聞いていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係する職員が多くなった場合に情報共有が難しい。	限られた時間の中、全員が顔を合わせてのやりとりが難しい。	日々の振り返りの他に、HUGの共有欄を有効活用していく。面談担当者を増やすなども検討する。
2	職員の支援力の向上。	いろいろな特性がある子どもたちがおり、ゆとりがなくなる場面も多い。 子どもとの経験の浅い職員も入ってきている。	研修を大切にしていく。 振り返りの時間も含め、「子どもについて話す時間」を意識して作り、困りごとや支援方法などみんなで話す機会を多くもてるようにしていく。
3	ポニー飼育のよりよい環境づくり。	ポニーの家に引っ越し、環境が一步改善したが、温暖化による夏の高温や放牧場の確保が難しいことなど、ポニーと人に優しい環境づくりに向けてまだまだ改善が必要。	人の福祉と同時に、動物の福祉が守られるよう、夏の対策や放牧場について検討していく。